

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名 称	NPO法人 社会福祉士ネットワーク・ヒューマンレインボー
所在地	千葉県船橋市本町4-31-23
評価実施期間	平成21年10月8日～平成22年2月9日

2 評価対象事業者

名 称	市川市立新田保育園	種別： 保育園
代表者氏名	上楽芳子	定員（利用者人数）： 120名
所在地	千葉県市川市新田3-21-1	TEL 047-370-4557

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に評価の高い点

- ・「子ども一人ひとりを大切にし保護者との信頼関係を築きながら、園児が心身ともに健やかに育つよう支援する」という園の理念が園長のリーダーシップのもと職員に共有されています。
- ・広い園庭や野菜畑に恵まれ、自然に触れながらみんなで元気に遊ぶ姿が好感されます。特に年長の園児が自然に年下の子供たちに接する年齢間交流が社会性をはぐくんでいると考えられます。
- ・園長がサービスの質の向上に意欲を持ち自ら率先して専門研修を受講し成果を職場にフィードバックし、職員に対し質の向上のモチベーションを引き出しています。園の行事計画についても、園全体で作り上げていくというプロセスが大切にされています。
- ・“利用者調査”において保護者から公立保育園の安定した育児体制に感謝の声が多数寄せられました。経験豊富な保育士の存在、アットホームな雰囲気、丁寧な個人面談の実施など現状への肯定的な回答がほとんど、広い園庭とともに利用者の高い満足度が感じられました。

特に改善を求められる点

- ・園は市街地に存在し、今日的不安な社会状況の中では不審者侵入対策など安全管理面での対策に必要以上に気を配っていく必要があります。機械警備は既に配備されていますし、門の施錠など安全対策は講じられています。しかし、利用者には改めて現状の対策状況を説明するなどして、丁寧に利用者の皆さんと一緒に防災意識を醸成していく必要があります。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

第三者評価を受けるにあたり、自己評価項目を一つ一つ全職員で確認し合いました。話し合う中で、日々の保育を振り返り、保育環境が大切な事など共通認識を持つ事ができ、児童虐待への対応や危機管理マニュアルなどの各種マニュアルを再度見直すことで、一人ひとりの意識の高まりにも繋げる事ができました。また、保護者対象のアンケート結果を真摯に受け止め、より良い保育を目指していきたいと思えます。

評価結果として保育園の環境の良さや、保育を丁寧にしているということを確認していただいたことは、今後も継続してスキルアップしていく意欲に繋がりました。

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

最寄の駅から近い住宅街に位置していますが、広い園庭と近隣の方々の理解もあり、子どもたちは温かく見守っていただいている中で、のびのびと生活しています。今後も地域交流などの活動を通して地域との連携を深めながら、子育て支援に心がけていきたいです。

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
福祉サービスの基本方針と組織	<ul style="list-style-type: none"> ・市川市の掲げる「市川市の子ども像」の実現のために、園の理念、園の保育方針を定め、更に「自然にふれ、みんなで一緒に元気に遊ぶ」という園目標に沿って運営されています。 ・市との役割分担は明確であり、職員会議、朝夕のミーティングなどを通して園の方針・事業計画は現場に共有されています。 ・恵まれた広い園庭、野菜畑を活用した遊びが重視され、身近な自然や社会とのかかわりが尊重されています。
組織の運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・園の運営がスムーズに運ばれるためには園長のリーダーシップの発揮とともに、職員一人ひとりが与えられた役割を十分にこなしていくことが必要です。積極的に研修を受講することにより個々人の力量アップが目指されており、園長は丁寧な職員との面接を行い目標達成度を振り返っています。 ・保育士・栄養士・看護師が連携をとり、愛情豊かに一人ひとりの園児と向き合って保育にのぞむ姿勢が評価されます。
適切な福祉サービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱い、プライバシーの保護、苦情解決などは市川市のマニュアルを活用し利用者へのサービスが図られています。 ・保護者の就労支援と子育てに対する意向は尊重され、家庭環境についても把握されており、困難な状況への相談・支援も適切に実施されています。 ・個々の子ども達に適切に対応していくためには職員全体での共通認識が必要との理解から、個別支援計画は職員会議の中で全職員によって把握されています。

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
サービスの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市川市の理念・園の理念や目標が全職員に周知されていることと同時に、職員が園長を信頼して保育に関わっていることが強く感じられました。 ・子どもたちにとっては、広い園庭と畑があることで現代では経験の得難い作物の生長を観察できています。また、地域の高齢者との関わりの場にもなっているということが、子どもたちの社会性を育む場にもなり保護者からの評価の声にも反映されています。 ・今回の保護者の声の中に行事後にもアンケートをとり、その結果を知らせて欲しいという意見がありましたが、保護者とのコミュニケーションを図るための一方法になるのではと思われます。

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果					評価結果
大項目	中項目	小項目	項目		
福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1	理念が明文化されている。	A
			2	理念に基づく基本方針が明文化されている。	A
		(2) 理念・基本方針の周知	3	理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	A
			4	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5	中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	A
			6	事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	A
			7	施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	A
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8	質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	A
			9	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A
組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10	事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	A
			11	経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A
	2 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	12	施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	A
			13	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にやっている。	A
			14	職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	A
		(2) 職員の就業への配慮	15	事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	A
			16	福利厚生に積極的に取り組んでいる。	A
			(3) 職員の質の向上への体制整備	17	職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。
	18	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A	
	19	実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている。		A	
	3 安全管理	(1) 利用者の安全確保	20	緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
			21	利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	A
			4 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	22
	23	利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。			A
	24	事業所が有する機能を地域に還元している。			A
	25	関係機関等との連携が適切に行なわれている。			A
	(2) 地域福祉の向上	26		地域の福祉ニーズを把握している。	A
		27		地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A
		適切な福祉サービスの実施		1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示
29	プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。		A		
(2) 利用者満足への向上	30		利用者満足への向上を意図した仕組みを整備している。		A
	31		利用者満足への向上に向けた取り組みを行っている		A
(3) 利用者意見の表明	32		苦情又は意見を受け付ける仕組みがある		A
	33		寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。		A
2 サービスの質の確保	(1) サービスの質の向上への取り組み		34	利用者からの意見等に対して迅速に対応している	A
			35	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
			36	課題発見のための組織的な取り組みをしている。	A
	(2) サービスの標準化		37	常に改善すべき課題に取り組んでいる。	A
		38	職員の対応について、マニュアル等を作成している。	A	
		39	日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	A	
		40	利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	A	
(3) 実施サービスの記録	41	利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	A		
	3 サービスの開始・継続	(1) サービス提供の適切な開始	42	施設利用に関する問合せや見学に対応している。	A
43			サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	A	
4 サービス実施計画の策定	(1) 利用者へのアセスメント	44	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	
		(2) 個別支援計画の策定	45	一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	A
	(3) 情報の管理		46	個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	A
		47	個人情報保護に関する規定を公表している。	A	

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 市川市立新田保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
福祉サービスの基本方針と組織			
- 1 理念・基本方針			
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立されている。			
- 1 - (1) - 理念が明文化されている。	1	A	入園時に入園のしおりで示すことをはじめ、各クラス内にも掲示され、園が目指していること(理念・ビジョン・基本方針など)を明示しています。
- 1 - (1) - 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	A	入園時に入園のしおりで示すことをはじめ、各クラス内にも掲示され、園が目指していること(理念・ビジョン・基本方針など)を明示しています。
- 1 - (2) 理念、基本方針が周知されている。			
- 1 - (2) - 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	A	園が目指していること(理念・ビジョン・基本方針など)について職員の理解が深まるような取り組みができています。
- 1 - (2) - 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	B	園が目指していること(理念・基本方針など)について、園児また保護者の理解が深まるように取組まれています。今後継続した取り組みが必要です。
- 2 計画の策定			
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
- 2 - (1) - 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	A	中・長期計画を踏まえ、保育課程、年間指導計画、月間指導計画、週案が職員の話し合いにより丁寧に作成されています。
- 2 - (2) 重要課題の明確化			
- 2 - (2) - 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	A	月次の職員会議において現状の振り返りが行われ、年間指導計画の達成状況と課題整理を行い、会議録で確認されています。
- 2 - (3) 計画が適切に策定されている。			
- 2 - (3) - 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	A	園長のリーダーシップで月1回の会議を職員全員で行い、また行事の取組み前には3歳以上児会議を頻繁に行い行事企画のプロセスを大切に運営しています。

評価基準		評点	コメント
- 3 管理者の責任とリーダーシップ			
- 3 - (1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
- 3 - (1) - 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	A	園長は質の向上に強い意識を持ち自ら進んで研修に参加し、修得した専門的知識を職員に定期的にフィードバックしています。
- 3 - (1) - 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	A	毎月業務月報報告作成し、保育課に提出。施設の点検をし、改善の必要な事は申請を行い、職員の健康管理も行っています。さらに第1種衛生管理免許取得し、市川市の労働安全委員として毎月市他施設の巡回も行っています。
組織の運営管理			
- 1 経営状況の把握			
- 1 - (1) 経営環境の変化等への対応			
- 1 - (1) - 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	A	公立保育園であり、市の保育課で事業を取りまく環境は把握整備されています。
- 1 - (1) - 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	A	待機児解消、障害児の受け入れなど受け入れ可能な限り受け入れが行われています。十分な保育ができるように延長保育利用者数に合わせて、職員の配置がされています。
- 2 人材の確保・養成			
- 2 - (1) 人事管理の体制が整備されている。			
- 3 - (1) - 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	A	全国保育士会倫理綱領、職員の心構えを職員会議で読み合い、確認しています。
- 2 - (1) - 人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的にしている。	13	A	園長が率先して研修受講に価値観を持ち、職員の研修参加を推奨しています。人材育成は研修計画を通じ組織的に実施されています。
- 2 - (1) - 職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	A	勤務評定マニュアルに基づき、行われています。
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
- 2 - (2) - 事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	A	毎月時間外勤務について、一人ひとりに意向確認をしシフトを実施しています。職員の意見を聞き改善が行われています。
- 2 - (2) - 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	A	育児休暇、リフレッシュ休暇、カウンセラー確保など充実した福利厚生制度ができています。

評価基準		評点	コメント
- 2 - (3) 職員の質の向上への体制整備			
- 2 - (3) - 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	A	組織的に新規採用職員研修をはじめ研修を充実、また専門職としての研修も年間を通して行い研修受講の価値は職員に共有されています。
- 2 - (3) - 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	A	研修を受講した職員は必ず報告書を作成し、他の職員に報告をすることにしてあります。外部研修受講者はもとより伝達研修の効果が発揮されています。
- 2 - (3) - 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	A	実習生受け入れマニュアルに基づき、積極的に受け入れが行われ、実習生の育成に力を注いでいます。
- 3 安全管理			
- 3 - (1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
- 3 - (1) - 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	A	災害時対応マニュアル、感染症マニュアル等に基づき行っています。
- 3 - (1) - 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	A	通園中の事故防止や不審者訓練、避難訓練、安全点検などが実施されています。
- 4 地域との交流と連携			
- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。			
- 4 - (1) - 地域との交流・連携を図っている。	22	A	未入园児に園庭開放する地域交流を年間で計画し、インターネットやポスターなどで広く地域に呼びかけを行っています。また小学校との交流、職員が地域の民生委員や子供会の委員になって積極的に活動していることで、情報を得ることができています。
- 4 - (1) - 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	A	市の動植物園、現代産業科学館、防災公園を利用し、近隣保育園とドッチボール対抗で交流を継続しています。
- 4 - (1) - 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	A	地域交流、ファミリーままの連携園として子育て支援をバックアップをしています。またファミリーサポートの講習会講師としての協力依頼に応じています。
- 4 - (1) - 関係機関との連携を図っている。	25	A	発達支援センター・子ども家庭総合支援センター・保健センター・ファミリーサポートセンターなどの連携をとっています。

評価基準		評点	コメント
- 4 - (2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
- 4 - (2) - 地域の福祉ニーズを把握している。	26	A	市川市次世代育成支援行動計画を職員に周知しています。
- 4 - (2) - 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	A	地域の福祉ニーズに一時保育の実施があります。一時保育対応マニュアルを職員に周知し、平成22年度より一時保育を実施の予定です。

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 市川市立新田保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
適切な福祉サービスの実施			
- 1 利用者本位の福祉サービス			
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
- 1 - (1) - 施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	A	個人情報取り扱いマニュアルが作成されており、全職員に周知しています。
- 1 - (1) - プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	A	個人情報の取り扱いマニュアルに基づき、また児童票の管理を徹底し、職場外には持ち出さないことを周知しています。
- 1 - (2) 利用者満足の向上に務めている。			
- 1 - (2) - 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	A	利用者の満足度向上を目的に、定期的に保護者会、個人面談、父母の会との懇談を行っています。
- 1 - (2) - 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	A	保護者会、個人面談、父母の会懇談などで要望されたことを職員で検討し、改善してきています。(例えば雨の日の通路の改善など。)
- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
- 1 - (3) - 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	A	苦情解決のポスターを掲示、意見箱を設置、保護者の直接の来訪にも対応しています。
- 1 - (3) - 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	A	寄せられた意見・苦情への苦情解決システムができています。
- 1 - (3) - 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	A	利用者からの意見には迅速に園で対応し、必要に応じて市の保育課に相談する体制ができています。
- 2 サービスの質の確保			
- 2 - (1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。			
- 2 - (1) - サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	35	A	職員の勤務評定を行うとともに、その評価をフィードバックをしながら、質の向上を図っています。
- 2 - (1) - 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	A	質の向上を目的に毎月の職員会議や、ミーティングなどで出された課題については、全職員で検討し解決に向けて組織的に取組まれています。
- 2 - (1) - 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	A	都度の行事の見直し、毎月の安全点検などを行うことで継続的に改善が心掛けられています。

評価基準		評点	コメント
- 2 - (2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
- 2 - (2) - 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	A	職員の心構えがあり、年度の初めに全職員で確認されています。また接遇マニュアルも活用し、業務の向上に努めています。
- 2 - (2) - 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	A	マニュアルの見直しは市内全体の公立保育園・園長会で行われ、各園で周知されています。
- 2 - (3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
- 2 - (3) - 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	A	園児の保育中に体調変化が見られた場合は処置を行い、保護者に連絡を入れたり、連絡帳で知らせるなどし、保育日誌や、保育園日誌に記録するなど記録が励行されています。
- 2 - (3) - 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	A	利用者に係る必要な情報は毎日のミーティングで伝え合い、ミーティングノートを活用することで、交替の職員にも伝達できるようにしています。
- 3 サービスの開始・継続			
- 3 - (1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
- 3 - (1) - 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	A	見学者は園の行事と重ならない限り積極的に受け入れ、また地域交流の後に希望者をつのり施設案内を行っています。
- 3 - (1) - サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	A	入園者は市の保育課で入園申し込みの際に説明を受け、さらに園では入園説明会の時に説明を行っています。
- 4 サービス実施計画の策定			
- 4 - (1) 利用者のアセスメントが行われている。			
- 4 - (1) - 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	A	入園時に看護師、栄養士がアレルギーや体質的疾患などを個別児童票でチェックし、対応しています。
- 4 - (2) 個別支援計画の策定			
- 4 - (2) - 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	A	個別支援計画は毎月の指導計画の中で、0, 1, 2歳児は全員行い、3歳以上児は必要に応じて個別に計画を立て、職員会議の中で全職員で把握しています。
- 4 - (2) - 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	A	モニタリングは毎月の定例会議で、全職員で評価・確認を行い、全職員が同じようにかかわれるようにしています。
- 4 - (3) 情報の管理			
- 4 - (3) - 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	A	市川市職員のための個人情報セキュリティハンドブックが作成されており、規定に従い運営されています。

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目		項目		
保育所	1 子どもの発達援助	(1)	発達援助の基本	1	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	A
				2	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	A
		(2)	健康管理・食事	3	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	A
				4	健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
				5	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	A
				6	食事を楽しむことができる工夫をしている。	A
				7	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A
				8	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A
				9	アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	A
		(3)	保育環境	10	子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	A
				11	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	A
		(4)	保育内容	12	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	A
				13	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A
				14	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A
				15	身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	A
				16	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	A
				17	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	A
				18	性差への先入観念による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	A
				19	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
				20	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
				21	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
	2 子育て支援	(1)	入所児童の保護者の育児支援	22	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	A
				23	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A
				24	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A
				25	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	A
				26	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	A
				27	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	A
	(2)	一時保育			A	

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 新田保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
保育所			
- 1 子どもの発達援助			
- 1 - (1) 発達援助の基本			
- 1 - (1) - 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	A	保育理念・保育方針の確認をした上で保育計画の作成が行われています。
- 1 - (1) - 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	A	各クラスでの反省評価を行い、月1回の職員会議において園全体の反省評価が行われ翌月の指導計画につなげています。
- 1 - (2) 健康管理・食事			
- 1 - (2) - 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	A	時間外児も含め受け入れの時の視診をしっかりと行い、マニュアルに従っての健康管理を実施しています。
- 1 - (2) - 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	A	健康診断結果を個人別健康カードに記載し、保護者に伝えられると同時に職員の共通理解も図っています。
- 1 - (2) - 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	A	感染症対応マニュアルに従い、看護師により対処方法の研修を受け、発生時には保護者に掲示や印刷物で周知されています。
- 1 - (2) - 食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	A	子ども達が育てた野菜の収穫・花苗の生長を観察したりしています。給食時のテーブルに季節の花を飾ったりし、雰囲気作りを行い楽しく食事ができるような配慮が見られます。
- 1 - (2) - 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	7	A	0・1歳児は担当別を取り入れ、2歳児後半には1グループで食事を行うことで喫食状況を確認。調理員の巡回により献立の作成、調理の工夫が行われています。
- 1 - (2) - 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	8	A	毎日の給食サンプルの展示や給食便り・献立表を配布し、4・5歳児には主たる食材をパネルに貼ることで子ども達にも毎日の食材に関心をもたせる工夫を行っています。
- 1 - (2) - アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	9	A	毎月栄養士と保護者が個別面談を行い、メニューについて確認し対応されています。なお、誤食のないよう氏名が明記されるなどの配慮がなされています。

評価基準		評点	コメント
- 1 - (3) 保育環境			
- 1 - (3) - 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	10	A	砂場の土おこしや防護シートの活用など衛生・安全点検を定期的に行い、危険度・使用度に合わせた修理等が適宜行われています。
- 1 - (3) - 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	11	A	庭に畑を作り自然に対する関心を持たせる環境を作り、異年齢で共に楽しく遊べる工夫や職員間の連携がとれるよう配慮されています。
- 1 - (4) 保育内容			
- 1 - (4) - 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	A	家庭環境や子どもの発達・心身の状況の変化について全職員が把握し、一人ひとりにゆったりと関わり、子どもの気持ちに耳を傾ける保育が心掛けられています。
- 1 - (4) - 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	A	個々の生活リズムを把握し、子ども自身が自信と意欲を持てるよう職員が生活習慣援助のために共通認識をもつよう心掛けられています。
- 1 - (4) - 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	A	子どもが自由に取り出せるように玩具の置き場所などを配慮することで、遊び終わったときには玩具を元に戻すことが自然にできるような環境作りを心掛けています。
- 1 - (4) - 身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている。	15	A	広い園庭という恵まれた環境のなかで、畑作りを通し近隣の高齢者との関わりをもち、自然物利用や生き物への関心が深まるよう見守られています。
- 1 - (4) - 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	A	日常的に異年齢交流の機会を設け、職員は遊びや生活の場面で人間関係が育まれるよう言葉がけ等の援助を行っています。
- 1 - (4) - 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	17	A	外国籍の子どもも自然体で集団に溶け込み生活ができるよう、職員間の認識や共有化が図られています。
- 1 - (4) - 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	18	A	保育中の行事でのグループ分けは、子どもの意志を尊重し選択できるよう配慮されています。
- 1 - (4) - 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	19	A	担当別を取り入れ、担任との信頼関係が図られ、子どもの心情に添うよう心掛けられています。

評価基準		評点	コメント
- 1 - (4) - 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	20	A	担当職員は子どもの安全や保育内容の指導に当たり、日中保育との関連性を図り異年齢児の関わりのなかで、優しさや思い遣りなどを子ども同士から学ぶことが出来るような環境を作るよう配慮しています。
- 1 - (4) - 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	21	A	職員は障害児関係の研修に参加し、いつでも保育可能な状況が整備されています。
- 2 子育て支援			
- 2 - (1) 入所児童の保護者の育児支援			
- 2 - (1) - 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	A	日々の保育活動について連絡帳や掲示により情報提供を行い、個々の子どもの状態に関しては連絡帳や送迎時に口頭で伝達をする等のコミュニケーションを図るよう心掛けられています。
- 2 - (1) - 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	A	家庭状況や子どもの発達の変化等はその都度、個人面談記録に記入され、年長児に対しては保育要録を作成し、個人情報として使用目的を保護者に伝え小学校との連携をとっています。
- 2 - (1) - 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	A	年3回の保護者会・行事の参加・保育参観・保育参加を計画し、保護者との共通理解が得られるよう心掛けています。
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	A	日々の健康観察で子どもの心身の異常や変化について速やかに園長に報告がなされる等、早期発見の体制が整っています。
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	A	職員は児童の心身の変化に十分配慮し、必要に応じて市川市子ども家庭総合支援センターと連携がなされています。
- 2 - (2) 一時保育			
- 2 - (2) - 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27	A	平成22年度より受け入れ実施予定。